

【専願】 体験授業型入学試験（エントリー制）(1期のみ)

総合型選抜では、各学科・領域が求める学生像や学習成果、ならびに学力の3要素や身につけた技術・技能に基づき、面接や書類、自己表現等によって、総合的に評価を行います。各学科・領域が求める学生像や学習成果については「アドミッション・ポリシー」をご覧ください。

体験授業型入学試験は、各学科・領域で設定している選抜内容により選抜を実施する「専願」の入学試験方式です。

体験授業の実施内容およびエントリー時に提出された「志望理由書」から「主体性・多様性・協働性・創造性」を評価し、出願時に提出された「調査書等」から「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を総合的に評価し、学内で選考します。

募集学部・学科・領域・コース

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

下記の1～3のいずれかを満たす者

1. 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2026年3月卒業見込みの者
2. 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2026年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣が指定した者
 - (5) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2026年3月31日までに合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願する者は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで電話でご連絡ください。

出願書類

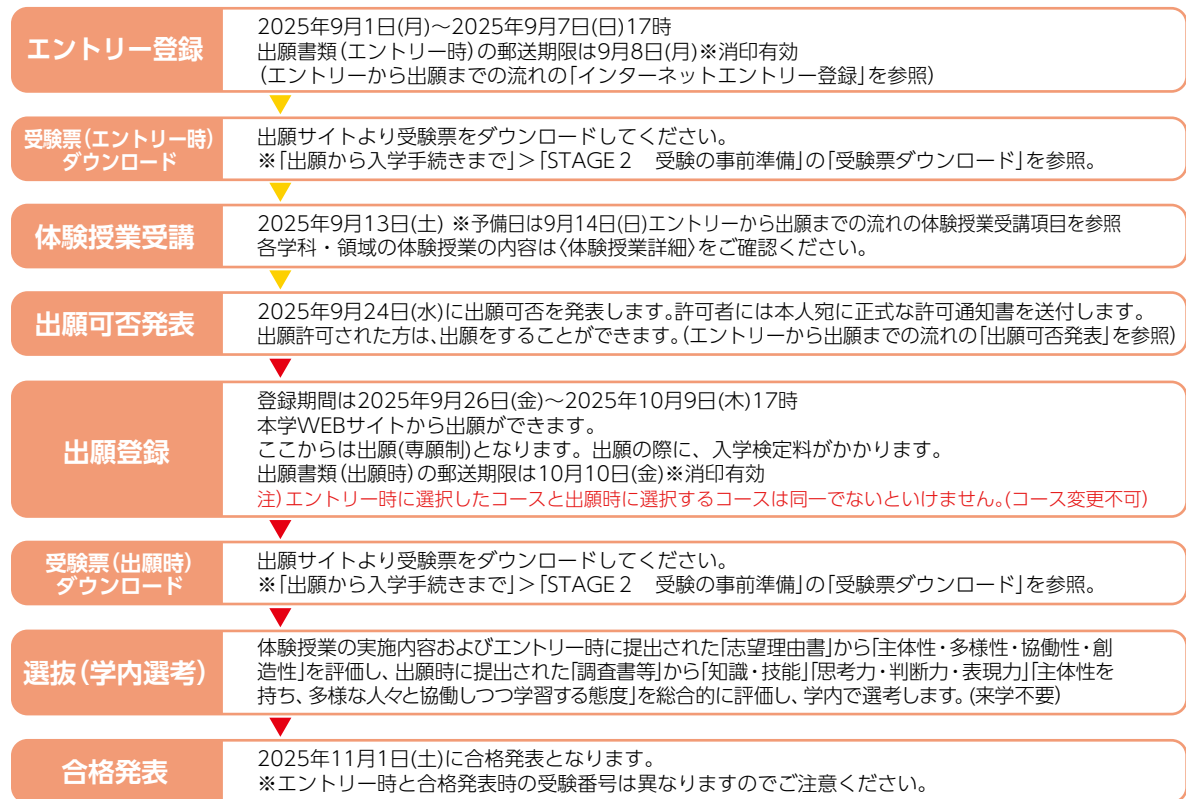
<エントリー時>

- ①エントリー確認票 ②大学入学志望理由書(様式1-1)

<出願時>

- ①出願確認票 ②調査書 ③出願許可書

選抜方法の流れ



エントリーから出願までの流れ

インターネットエントリー登録

- インターネットで出願サイトにアクセス** (URL)<https://sak-sak.net/app/nua/>
本学Webサイトからアクセスしてください。
- 試験情報の登録**
「体験授業型入学試験(エントリー)」
(エントリーから志願先等を登録します。)
- 志願者情報の登録**
氏名・住所・電話番号等を登録します。※**顔写真データのアップロードが必要です。**(JPEGデータを事前にご用意ください。)
- 顔写真データのアップロード**
インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、**事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。**
- 出願書類(エントリー時)の送付**
エントリー登録後に印刷した「送付ラベル」を使用し、「エントリー確認票」、「大学入学志望理由書(様式1-1)」を角2サイズ以上の封筒で郵送します。

〈出願サイト〉



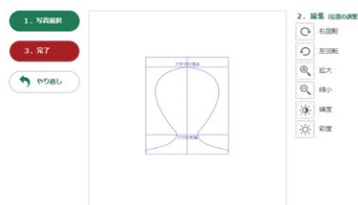
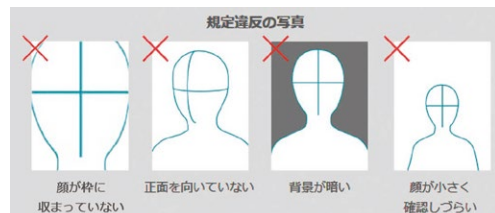
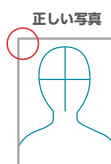
登録したメールアドレス宛に届く確認用メールを必ず確認してください。
(入学までの登録メールアドレスは使用します。)

●**ユーザID** (半角英数字8文字以上。入力したメールアドレスをIDとすることもできます。)

●**パスワード** (半角英数字併せて8文字以上。)

※ユーザID・パスワードは「出願状況確認」「受験票ダウンロード」等で必要となりますので忘れないように各自で管理してください。

- ・本人のみが写っていること
- ・3か月以内に撮影されていること
- ・上半身、無帽、正面向きであること
- ・本人の顔がはっきり確認できること
- ・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
- ・カラー写真であること



次の1～3の手順で顔写真データのアップロードを行ってください。

- 写真選択**
写真データ(JPEG形式)を選択してください。
- 編集(位置の調整)**
上記規定のとおりレイアウト枠内(アタマの頂点とアゴの先端)に収まるように、左右回転/拡大縮小/輝度/彩度を調整してください。
- 完了**
調整が完了したら、「3.完了」ボタンをクリックしてください。

体験授業受講

集合場所・集合時間は2025年9月10日(水)までに本学Webサイトで告知します。体験授業受講日は各学部学科領域で指定された持参物と受験票(エントリー時)を持参してください。

出願可否発表

1 発表方法

〔インターネット出願可否照会〕

出願可否発表は本学Webサイトにて行います。インターネットによる出願可否照会システムで9月24日(水)の午前10時から行います。掲載期間は9月24日(水)午前10時から10月9日(木)17時までです。

※出願可否発表の学内掲示は行いません。また、出願可否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

2 インターネット出願可否照会

出願可否照会サービスの利用期間 2025年9月24日(水)の午前10時から2025年10月9日(木)

1

パソコン・スマートフォン・タブレットで出願可否照会ページにアクセス

(※本学Webサイトからもアクセスできます)

<https://sak-sak.net/app/pass/nua/>



(スマートフォン用)

2

受験番号(エントリー時)と生年月日の入力〔イメージ〕

受験番号と生年月日を入力し、
「出願可否照会」ボタンをクリックしてください。

3

出願可否の確認

【許可の場合】

【不可の場合】

注意事項等

- ・期間外には見ることはできません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・操作方法ならびに出願可否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。
- ・パソコン等のブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- ・画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

【出願可否照会について】 ●当サービスでの出願可否照会は速報であり、許可者には本人宛に正式な許可通知書を送付します。
●本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした出願手続きの遅れは認められません。

出願登録

出願サイトにおいて、エントリー登録時に使用したユーザIDとパスワードを利用して、
「出願開始(ユーザ登録済の方)」から出願登録をしてください。

初めての出願または
ユーザ未登録の受験生

初めて出願を行う方は利用案内を確認の上、
出願手続きを行ってください。

出願開始

ユーザ登録済の受験生用

ユーザ登録済の方は、以下にユーザID・パスワードを
入力し、出願または出願状況確認を行ってください。

ユーザID
パスワード

出願状況確認

出願開始
(ユーザ登録済の方)

ユーザIDを忘れた方はこちら
パスワードを忘れた方はこちら

体験授業詳細【配点300点】

芸術学部 芸術学科 音楽領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～12:00予定※)
声楽コース	声楽表現の可能性を探る	体験レッスン 成果発表	体験レッスン 45分
鍵盤楽器コース (ピアノ)	ピアノの体験レッスンと初見演奏		
鍵盤楽器コース (電子オルガン)	電子オルガンで“音楽”すること		
弦管打コース	弦管打奏法の研究と楽曲の表現方法について		
ウインドアカデミーコース	吹奏楽に関係する楽器の体験レッスンと リペアの体験授業	体験授業 成果発表	楽器のレッスン 30分 リペアの体験授業 60分
ポップス・ロック＆ パフォーマンスコース	ヴォーカルまたは各楽器の体験レッスン	体験レッスン 成果発表	体験レッスン 45分
ダンスパフォーマンスコース	踊ることと表現すること		体験レッスン 50分
声優アクティングコース	演技の基礎を学ぶ		体験レッスン 90分
サウンドメディア・ コンポジションコース	作曲ならびに録音の体験授業	体験授業 成果発表	作曲の体験授業 60分 録音の体験授業 60分
ミュージックエンターテインメント・ ディレクションコース	音響ならびに照明の体験授業		音響の体験授業 60分 照明の体験授業 60分
音楽ケアデザインコース	音楽療法模擬セッション		講義 45分 模擬セッション 60分
音楽総合コース	上記いずれか1つのコースの体験授業を選択		

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

- ・声楽コース：マンツーマンレッスンを実施します。発声法や呼吸法の基礎指導に加え、クラシック歌曲、オペラアリア、または高校の教科書掲載曲を含む日本歌曲の中から、任意の1曲を歌唱します。
- ・鍵盤楽器コース (ピアノ)：クラシック作曲家のピアノ独奏曲について、演奏技術や表現方法の研究をします。事前に準備された任意の楽曲 (1曲または複数曲) について、その様式や時代背景、作曲家の意図等の音楽的な理解を深めていきます。また、8小節程度の簡単な初見演奏で読譜能力を確認します。
- ・鍵盤楽器コース (電子オルガン)：任意の1曲を「上手く弾く」ことより「伝えたいことを伝える」ことに重きを置いてレッスンします。
- ・弦管打コース：マンツーマンのレッスンにより楽器奏法の理解と楽曲の表現方法を学びます。
- ・ウインドアカデミーコース：吹奏楽で演奏する上での音楽的素養、楽器に対する興味・関心を学びます。
- ・ポップス・ロック&パフォーマンスコース：マイナスイオンで一度演奏してもらい、音程、リズム、歌心、奏法基礎、簡単な音楽理論、個々に必要な練習方法等のレッスンを実施します。
- ・ダンスパフォーマンスコース：ダンス基礎の体験レッスンを実施します。ストレッチ等のウォーミングアップ、振付などをレッスンします。
- ・声優アクティングコース：演技の基礎のワークショップを実施します。
- ・サウンドメディア・コンポジションコース：作曲ならびに録音の体験授業を実施します。作曲の体験授業では、パソコン (Mac) を使用して簡単な音楽制作を行います。録音の体験授業では、録音方法の事例とレコーディングスタジオの機能を学びます。実際にパーカッションやクラブなどを録音し、録音とミックスがどのように行われているかを体験します。
- ・ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース：音響ならびに照明に関する基礎的なレクチャーと実習を行います。
- ・音楽ケアデザインコース：音楽療法プログラム作成についてのミニ講座受講後、それをもとにプログラムを立て模擬セッションを実施します。
- ・全コース共通：各コースの体験授業実施後、成果発表を実施します。

〈体験授業の評価のポイント〉

- ・声楽コース：基礎的な歌唱力と楽曲への理解・表現力に加え、音楽性とコミュニケーション能力を重視します。音楽への真摯な姿勢と可能性を総合的に評価します。
- ・鍵盤楽器コース（ピアノ）：学習意欲、学習姿勢を総合的に評価します。
- ・鍵盤楽器コース（電子オルガン）：自分の演奏する曲について、明確に解釈して、それらを「伝える」ためにどうするのかを総合的に評価します。
- ・弦管打コース：基礎力、理解力、適応力、また学習に対する姿勢等を総合的に評価します。
- ・ウインドアカデミーコース：基礎力、理解力、適応力、また学習に対する姿勢等を総合的に評価します。
- ・ポップス・ロック&パフォーマンスコース：体験レッスンでの姿勢、マイナスインでの演奏等を総合的に評価します。
- ・ダンスパフォーマンスコース：学習意欲、学習姿勢、表現力、身体能力、ダンススキルを総合的に評価します。
- ・声優アクティングコース：体験授業での「表現力」「主体性」「協調性」「コミュニケーション能力」等を総合的に評価します。
- ・サウンドメディア・コンポジションコース：体験授業での取り組み姿勢を総合的に評価します。
(取り組み方、コミュニケーション能力、内容理解度 等)
- ・ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース：授業に対する理解度や積極性、コミュニケーション能力等の総合的な姿勢を評価します。
- ・音楽ケアデザインコース：体験授業での取り組み姿勢を総合的に評価します。
(積極性、コミュニケーション能力、内容理解度、成果発表へ向けての取り組み方等)

〈試験当日持参物〉

- ・全コース共通：①受験票（エントリー時）
- ・声楽コース：①筆記用具、②当日歌唱する楽譜、③教員伴奏用楽譜
- ・鍵盤楽器コース（ピアノ）：①筆記用具、②演奏する楽曲の楽譜
- ・鍵盤楽器コース（電子オルガン）：①筆記用具、②自身が演奏する曲に必要なもの（楽譜、データ等々）
- ・弦管打コース、ウインドアカデミーコース：①筆記用具、②当日演奏する楽譜、③専攻する楽器
- ・ポップス・ロック&パフォーマンスコース：①筆記用具、②楽譜、③楽器、④伴奏音源（マイナスイン）
- ・ダンスパフォーマンスコース：①筆記用具、②ダンスシューズ（無くても可）
- ・声優アクティングコース、サウンドメディア・コンポジションコース、ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース、音楽ケアデザインコース：①筆記用具

〈注意事項〉

- ・弦管打コース：伴奏者が必要であれば各自で手配する。
- ・ポップス・ロック&パフォーマンスコース：「マイナスイン」＝自分の演奏パートの音声が入っていない音源
- ・ダンスパフォーマンスコース、声優アクティングコース、ミュージックエンターテインメント・ディレクションコース：動きやすい服装で受講する（スカートは不可）

芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～12:00予定※)
全コース	積み木を使って 舞台芸術作品を体験しよう	グループワークで 小作品を制作発表	体験授業 60分 発表 30分※

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

グループワークを通して、舞台芸術の「つくり手」としての体験をしてもらいます。
 小道具として積み木・ペンライト・カラーフィルム・音楽を使用し、与えられた時間の中で一つの小作品を制作・発表します。
 1. 3～5人でグループをつくります。
 2. 舞台作品のつくり方について、簡単な講座を行います（演出・美術・音響・照明の基礎知識）。
 3. グループ内で役割（美術、音響、照明）を話し合って決定します。
 4. 「テーマ」をグループで決め、そのテーマに沿って作品づくりを行います。各役割に応じて次のような準備をします。
 美術：積み木を使ってテーマを表現した空間を構成します。
 音響：事前に用意された3曲から1曲を選び、音楽のタイミング・音量・フェードイン/アウトを設計します。
 照明：2本のペンライトとカラーフィルムを使って、色・角度・タイミングを工夫します。
 完成した作品をグループで発表・プレゼンテーションします。発表後、グループごとにテーマの意図や工夫した点を共有し、教員からフィードバックを受けます。

〈体験授業の評価のポイント〉

体験授業への姿勢
 グループでの積極的なコミュニケーション、協働する姿勢、提案力、試行錯誤する過程などを評価します。
 成果発表
 チームで作り上げた作品の完成度、テーマへの一貫性、役割ごとの表現力、プレゼンテーションのわかりやすさを評価します。

〈試験当日持参物〉

①受験票（エントリー時）、②筆記用具

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～14:00予定※)
全コース 右記2つの授業から 自由選択	【平面課題】鉛筆で描く	提示したテーマに沿って、 平面課題（鉛筆で描く）と 立体課題（粘土でつくる）の どちらかの体験授業を受講。 最後に講評を実施。	体験授業(制作) 180分 昼食休憩 約60分※ 講評 約60分※
	【立体課題】粘土でつくる		

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

エントリー時に平面課題（鉛筆で描く）と立体課題（粘土でつくる）のどちらかを選択します。
 【制作】あらかじめ選択していた課題に分かれ、提示したテーマに沿って、各自で制作をします。
 【講評】完成した作品を発表し、教員から講評を受けます。
 ※「テーマ」は平面課題、立体課題ともに同じ内容になります。
 平面課題では画用紙、鉛筆、練り消しゴム、モチーフを使用します。本学で用意いたします。
 立体課題では粘土、制作用具、モチーフを使用します。本学で用意いたします。

〈体験授業の評価のポイント〉

- ・表現力＝テーマを理解し、制作に必要な技術力や思考力を用いて表現できているか。
- ・美術に対する気持ち＝制作する姿勢や美術を学ぶための意欲や関心を備えているか。

〈試験当日持参物〉

①受験票（エントリー時）、②昼食

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～15:30予定※)
ファンデーション	デザインプロセスを体験しよう	テーマに沿った講義と理解を深めるためのワークを行い、作品を制作します。	導入 60分 制作 180分 昼休憩 60分* プレゼンテーション 30分～*
先端メディア表現コース	コンテンツ制作を体験しよう	グループワークを通して、テーマに沿ったコンテンツを制作します。	体験授業 60分 制作 180分 昼休憩 60分* 講評とプレゼンテーション 30分～*
文芸・ライティングコース	文芸作品クリティーク	文芸作品2点を読んでもらい、作品についての感想、批評を発表し合います。	体験授業 240分 昼休憩 60分* 講評とプレゼンテーション 30分～*

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

ファンデーション：テーマは「測る」。講義を聴いた後、実際にさまざまなものの長さを測ってみます。最後に課題を制作し、プレゼンテーションをします。グループによる進行を予定しています。

先端メディア表現コース：グループに分かれてもらい、テーマに沿ってアイデア出しを行い、制作してもらいます。制作されたコンテンツをプレゼンテーションしてもらいます。

2～3名で1チームになって進行予定です。体験授業では、iPad、Macなどを使用します。本学で用意いたします。

文芸・ライティングコース：文芸作品2点を読んでもらい、作品についての感想、批評を発表し合います。

〈体験授業の評価のポイント〉

ファンデーション：課題への取り組み姿勢とプレゼンテーション・制作物の内容を総合的に評価します。

先端メディア表現コース：グループでの積極的なコミュニケーション、協働する姿勢、提案力、試行錯誤する過程などを評価します。また、制作物の内容、プレゼンテーションのわかりやすさを評価します。

文芸・ライティングコース：文芸作品を読み解いてもらうこと、意見を発表すること、ワークシートに考えをまとめていることなどを評価します。

〈試験当日持参物〉

全コース：①受験票（エントリー時）、②昼食

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～14:30 予定※)
全コース	興味から「私だけの学び」を創ろう	レクチャーを受けた後で、自分自身の興味・関心を振り返り、ワークシートに記入する。 口頭でプレゼンテーションを行う。	レクチャー 60分 ワークショップ 90分 昼食休憩 60分 プレゼンテーション 約50分※

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

芸術教養領域では、アートやデザイン、マンガ、ゲーム、ポピュラー音楽、アニメ、映画など、学生一人ひとりが自分の興味から「私だけの学び」を創っていきます。
その学びを創るうえで大事にしていることが「振り返り」です。そこで、この体験授業では自身の興味・関心・好きなことなどを振り返ってもらいます。
この体験授業を通じて、自身の興味・関心と芸術とがいかに深く結びついているかを感じてほしいと考えています。
①レクチャー（演習型）：教員の説明を聞きながら、キャンパス内の特徴的な場所を見学します。
受講生はレクチャーを聞きながら意見を述べます。
②ワークショップ：こちらで用意したワークシートを使い、自分自身の興味・関心を振り返ります。
③プレゼンテーション：1人2～3分でワークシートの内容を口頭発表し、教員と受講生を交えて意見交換します。

〈体験授業の評価のポイント〉

体験授業への参加態度・積極性
作成したワークシート
口頭発表の内容・伝わりやすさ

〈試験当日持参物〉

- ①受験票（エントリー時）
- ②メモできるもの（メモ用紙と筆記具、スマートフォンやタブレットなどの電子媒体も可）
- ③筆記用具（こちらが用意する用紙に記入できるもの。色鉛筆、ペンなどを使っても良い）
- ④その他、自分の興味・関心を伝えるのに適切だと判断し、持参できるものならば自由。
- ⑤昼食

教育学部 子ども学科

コース	体験授業テーマ	体験授業内容	時間 (9:30～12:00 予定※)
全コース	詩をモチーフにしたコラージュ作品を共同制作しよう！	テーマに沿ってグループで共同制作を行い、成果発表を実施する。	体験授業(共同制作) 70分 成果発表 約20分※

※ 時間は受講生数によって変動する場合があります。

〈体験授業詳細〉

配付された詩を読み解き、その世界をモチーフにしたコラージュ作品を共同制作をします。
最後に、グループごとに成果を発表しあうことで、詩の世界の解釈や制作した作品の工夫や良さ等について共有します。
授業の際、模造紙、カラーペン、色鉛筆、のり、ボンド、コラージュ用素材、ハサミ、カッター、カッターマットを使用予定です。
本学ですべて用意いたします。

〈体験授業の評価のポイント〉

制作を楽しみながら試行錯誤し、仲間と協調する姿勢など

〈試験当日持参物〉

- ①受験票（エントリー時）、②筆記用具